

呼吸療法セミナーに参加して

2024年9月21日、レゾナック大分ドーム特設会場にて開催された呼吸療法セミナー、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、看護師と呼吸療法において連携を求められる職種の方々26名の参加にて行われました。まず、大分リハビリテーション専門学校の大嶋崇先生より理学療法士が患者さんに行う包括的呼吸リハビリテーションにおける基礎知識と実際についてのレクチャーがありました。特に喀痰法において明日から活用できる『ハフティング：口をハの字にし、呼吸流速を高めての排痰』の技法をわかりやすく教えていただいたことが印象的でした。ランチョンセミナーでは、大分赤十字病院の丸野祐輔先生より臨床工学技士の業務である人工呼吸器について換気モード、グラフィック波形などの基礎知識からNPPV管理、HFNCについて、またRSTでの活動と実務の中で活かしたお話を伺うことができました。午後の講演は、南海医療センター看護師の河野由美子先生によるRSTの活動の中での看護師の役割を院内での取り組みを交えてお話しいたきました。また、ご自身が在宅人工呼吸に対応されてきた経緯の中で患者さんとの関わりや使用されている医療機器についてお話しいたき、普段臨床工学技士が携わることのない看護師視点からの業務について学ばせていただきました。会場では、其々の講演ごとに活発な質問やディスカッションが展開されました。講演後の吸引ハンズオンセミナーでは、患者さんへの使用を考えた吸引器操作の難しさを目の当たりにしながら個別指導のもと、参加者は手順を一つ一つ確認しながら真剣に行いました。

今回のセミナーでは、呼吸療法の奥深さを知ることができ、“明日から実践できる！”ととても有意義な学びに繋がったことを感じました。

～ハンズオンセミナー～



大嶋 崇 先生

大分リハビリテーション専門学校 理学療法士科



丸野 祐輔 先生

大分赤十字病院 臨床工学技士



河野 由美子 先生

南海医療センター 看護師

